

11009その他の鉄鋼業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	17 ～ 18	外した銅板（スクラップ）を鉄箱に放ったところ、銅板と配電盤が銅線でつながっていたため、そのまま戻ってきて右肩にぶつかった。	61	4	521	30 ～ 49 人
2	2018	2	9 ～ 10	取引先の構内にて、車載荷物の確認作業のために、車のはしごに足を掛けた際、足を滑らせ転倒し、右上半身を強打し、肋骨骨折などの怪我を負った。	48	1	221	50 ～ 99 人
3	2018	2	14 ～ 15	廃材切断の際、ガス切断で回転軸の切り離し作業で、切り離された鉄塊が10cmの高さから左足先に落下し、小指が挟まり骨折した。	42	4	331	1～ 9人
4	2018	2	17 ～ 18	落下した金型を治具に乗せる際、ホイストを使用せず手作業だったため、金型と作業台の間に左手薬指が挟まれ負傷した。	43	4	521	100 ～ 299 人
5	2018	2	14 ～ 15	自動車で走行中、左側後輪がバーストし制御不能となり横転し、中央分離帯に接触して負傷した。	65	17	231	1～ 9人
6	2018	2	7 ～	製品コイルが不安定に置かれているのに気付かずに、コイルが足下	19	1	521	10 ～

			8	に倒れてきて、左足首がコイルに挟まれて負傷した。				29 人
7	2018	3	8 ～ 9	工場内材料置き場で、積まれた縞鋼板（縦1.5cm、横1m、重さ80kg）を移動させるためにワイヤーを掛けていたところ、不安定な重なり方をしていたため、一番上に積まれていた縞鋼板がずり落ち、左足先を挟んで負傷した。	32	5	521	1～ 9人
8	2018	3	8 ～ 9	機械（鋳造用ハンマー）1tonハンマーにて金属加工（熱間鋳造品製造）時に、前日より機械の電磁弁の調子が悪かったので、点検、確認をしていたが、事故当日試運転誤作動が起こり、作業用金ばしが機械に挟まり、その金ばしにその日に限って中指を入れてしまっていたため、負傷した。	29	17	155	1～ 9人
9	2018	4	20 ～ 21	2号溶解炉の合金取り出し作業中に、モールド（水冷板）を動かしながら合金をハンマーで叩いていた。割れない箇所があったため、慌てて右肘を伸ばした状態で叩いたところ、モールドの外周リングに右手中指を打ち付け受傷した。	54	7	364	—
10	2018	4	9 ～ 10	事務所内にて、機上でのクレーン作業中、吊り具にて品物を吊り上げているとき、品物の角で吊り具が切断され、落下した品物と機械カバーの間に右足首を挟まれて負傷した。	39	4	611	1～ 9人
11	2018	5	14 ～ 15	鉄板の在庫確認するために、積み上げた鉄板（高さ約1m）の上に乗って確認後飛び降りて着地時に左足首を負傷した。	32	3	416	10 ～ 29 人
12	2018	5	13 ～ 14	ステンレスコイルの切断加工を行おうと、切断した製品を自動集積する台車の、上の台木にズレが生じたので直そうと、被災者が操作パネルで降下ボタンを押して台木を直していたところ、自動で降下してくる台車縁のカバーと地面との間に左足を挟まれた。	20	7	219	—
			10	コイル照合作業を終え、現品票とマグネットカードをコイルに添付				10 ～

13	2018	5	～ 11	するため、外周紙の上を歩行したところ、足下が滑り後方に転倒し負傷した。	46	2	416	29 人
14	2018	5	15 ～ 16	ノロ缶の撤去・解体作業中にノロ缶の片側2点にハッカーを掛け地切りしようとワイヤーを張った際に、1点のハッカーの、ツメの掛かりが浅かったためツメが外れてはじけ飛び、被災者の前歯に当たり歯槽骨骨折となった。	19	4	372	30 ～ 49 人
15	2018	5	9 ～ 10	工場で鋼材をパンチャーで穴開け作業中、ガイドと鋼材の間に右手人差し指を挟まれる。	39	7	159	10 ～ 29 人
16	2018	6	15 ～ 16	製鋼工場電気炉上で電極ホルダと冷却水配管の間隔測定を行うため、電極ホルダ上のダストをエアー吹きしたあと、フロアへ戻る際にバランスを崩し、高さ1.5mの所から転落し、右鎖骨を折った。	47	1	416	100 ～ 299 人
17	2018	6	16 ～ 17	作業場で、開先加工で出た切粉の回収作業中、切粉の入った鉄製のボックスにクランプを掛け、クレーンで吊り上げて、鉄製の回収ボックスに中身を空けようとしたところクランプがずれて、傾いたボックスと回収ボックスに左手中指を挟んだ。	65	7	372	10 ～ 29 人
18	2018	6	10 ～ 11	溶接材料のフラックス生産工程で夜勤業務中に、溶解炉内の補修のため、材料（スタンプ材25kg入り）30袋を炉内に撒いたあと、振動工具を使って炉壁にスタンプ材の貼り付けを行ったところ、腰が痛くなった。	39	19	612	100 ～ 299 人
19	2018	6	8 ～ 9	工場で入荷材の荷降ろし作業中、12t車の荷台から丸材2本をクレーンで降ろす際に材料が滑り落ち、右足甲と右手の平を負傷した。	61	4	611	30 ～ 49 人
			9	会社倉庫で、鉄板の山の上に登り、クレーンで搬送されてきた鉄板				50

20	2018	6	～ 10	1枚の端を鉄板の山の端に合わせる際、鉄板の端がよく見えるよう左足の位置を変えたとき、足を踏み外して落下し、左手首を骨折した。	48	1	521	～ 99 人
21	2018	6	～ 15	14 工場でマシニング機を使用中、品物の押さえ金具を移動させる際、 15 刃物（ラフィング）に軍手が引っ掛かり、そのまま引っ張られて親指の靭帯を断裂した。	37	7	159	1～ 9人
22	2018	6	7 ～ 8	大型ガス切断設備の架台上で地金をGLへ下ろすため、班長が東側、被災者が西側へ移動し玉掛け作業を開始した。班長が地金の東側の吊りピースにハッカーを掛けたあと、被災者が西側の吊りピースにハッカーを掛けようとハーケン（長さ2.5mの手鉤）で引っ張った。その際、ハーケンがハッカーから外れて姿勢を崩し、被災者が後方へ転倒し、GL上のガス配管に顔の左側面を強打した。	70	2	364	100 ～ 299 人
23	2018	7	13 ～ 14	はりを横移動する際に、バタ角を置いたとき、バタ角がずれ、ハリが横転、自分の方へ倒れて下敷きになった。	59	5	415	1～ 9人
24	2018	7	13 ～ 14	弊社工場内、4メートルシャーリングで鋼板切断作業中、板抑えというストッパーに左手指先を入れすぎ、左手中指と薬指を板抑えに挟まったまま慌てて手を抜いてしまったため、指先の肉が削げ落ちてしまった。	46	7	156	10 ～ 29 人
25	2018	7	～ 19	18 当社工場内で回収に来たボックスをトラック荷台から下ろすため、 19 荷台横板のフックを、前後外したとき、横板が右肩胛骨背中の上に当たり、負傷した。	51	6	221	30 ～ 49 人
26	2018	7	12 ～ 13	工場内のNCガス切断機で製品の切断終了後、切断機をスタートの位置に戻す操作を行っていたが、同架台のレールの外側の足場に左足を置いたとき、操作台に取り付けてある階段状のステップの下側とその足場に左足が挟まれ負傷した。	22	7	416	100 ～ 299 人
				ホイストクレーンに線材コイルを吊り下げていたところ、コードが				50

27	2018	8	10 ～ 11	クレーンワイヤーに絡み付いたためコードを切断することとしたが、切断の反動により顔に跳ね返ってきたため、それを避けようとしバランスを崩し床上に転落した。	44	1	371	～ 99 人
28	2018	8	21 ～ 22	加工済みのコラムの移動作業中、クレーンで上げたところハッカーが外れ、コラムが右足甲先に落下し、第二指付根を受傷した。	31	4	372	10 ～ 29 人
29	2018	8	10 ～ 11	2段積み原料ボビンの溶接作業中、溶接後にボビン吊り具を外そうとしたときに、吊り具にワイヤが引っ掛かっていたので、両手でボビンのつばを掴んで回していた際、外した吊り具に体が触れ、回転した吊り具とボビンのつばとの間で、右手人差し指を挟まれた。	27	7	211	100 ～ 299 人
30	2018	8	8 ～ 9	工作物約70kgを反転中に、誤って工作物と作業台の間に左手親指が挟まった。	52	7	521	1～ 9人
31	2018	8	10 ～ 11	第3工場キャリア粉サンプルの調合作業を実施していて、作業開始後、眩暈と吐き気を感じ、熱中症と診断された。	40	11	715	100 ～ 299 人
32	2018	9	14 ～ 15	金属加工の工場内で、椅子に座ってバリ取りをしていたところ、突然椅子が破損したため体勢が崩れて左足にサンダーが当たり、負傷した。	42	8	153	1～ 9人
33	2018	9	15 ～ 16	工場内にて製品組付時、手で持てると思いクレーンを使わずに自分の力だけで動かそうとして、腰をひねり痛めた。	53	19	921	1～ 9人
34	2018	9	13 ～ 14	工場内でシャーリング作業中、加工材料の鋼板（4.5mm×1230mm×1220mm）を引っ張った際、アームの角と鋼板で左手小指を挟んで骨折した。	49	7	521	10 ～ 29 人



43	2018	9	13 ～ 14	工場内でシャーリング作業中、加工材料の鋼板（4.5mm×1230mm×1220mm）を引っ張った際、アームの角と鋼板で左手小指を挟んで骨折した。	49	7	521	10 ～ 29 人
44	2018	10	20 ～ 21	金属部品製造工場、掃除機を使用して清掃作業中、掃除機が爆発し、顔や手等に火傷を負った。	26	14	391	100 ～ 299 人
45	2018	10	8 ～ 9	工場内で、充電式磁石を使って鋼材（約50kg）2本を移動させる際、鋼材が磁石から外れて落下し、左足親指を骨折した。充電式磁石のバッテリー不足と、鋼材に付着した鉄粉が原因で事故が発生した。	46	4	372	30 ～ 49 人
46	2018	10	16 ～ 17	構内で、トレーラー荷台を重機で吊り上げ、下にあった角材を抜こうと右手を入れたとき、吊り上げた荷台が落下して右手指を挟んだ。	57	7	221	10 ～ 29 人
47	2018	11	16 ～ 17	缶を集めてプレス機に入れるため、トラックによじ登ろうとしたところ、手足を滑らせて落下した。	63	1	221	—
48	2018	11	18 ～ 19	構内スリッターラインでエンドを巻き取る作業中、ワークサイド側の1本目が緩んだため直そうとしたところ、右手と肺を負傷した。	35	7	163	50 ～ 99 人
49	2018	11	10 ～ 11	工具（ギロチン）の保護カバーの開き戸を開け、蝶番部分に左手を添えて外部の状況を確認していたところ、鉄くずが当たって扉が閉まり、左手親指を挟んだ。	49	7	159	10 ～ 29 人
				会社敷地内にて、フォークリフトで上げた細かいゴミをゴミ用のコ				

50	2018	12	10 ～ 11	ンテナへ捨てるため、コンテナの中に山積みになっているゴミ（フレコンというゴミを入れる大きな袋）の上に乗って作業していたところ、そのフレコンで足を滑らせ、膝をひねり脱臼した。	64	19	611	1～ 9人
51	2018	12	16 ～ 17	工場内で重機から降りようとしたところ、バランスを崩し、近くに置いてあった鉄の箱に右肩をぶつけ、右肩の腱を断裂した。	64	2	141	10 ～ 29 人
52	2018	12	13 ～ 14	3製鋼1CC、3セグメント型替え点検作業で、指導者以下5名で専用置台にて3セグメントの点検作業を開始した。被災者は置台作業床、作業者1名は地面上ホースバルブ操作に分かれスプレー作業点検を行った。被災者の声が聞こえたため、指導者が確認したところ、傾いたセグメントと作業床の間に挟まれているのを発見した。	64	7	169	50 ～ 99 人
53	2018	12	10 ～ 11	取引先の工場内で積み込みのとき、相手の方が既に鉄板をトラックの近くまで持ってきていたので、あわててバンギを整えようとしてコンクリートの境目に右足親指の爪が引っ掛かり、転びそうになって、前に倒れ両手をついた。そのとき右肩の辺りに激痛が走った。	64	2	417	10 ～ 29 人
54	2018	12	11 ～ 12	当社第2工場にてトラックの荷にネットを掛けた後、降りるときに荷台のはしごから足を滑らせ、3cmくらいの段差の溝に右足踵がはまり右足首をひねった。	64	1	371	10 ～ 29 人

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。